

景況・経営動向調査結果

平成22年度 第4四半期（1～3月）

目 的

長崎市内の景況及び長崎商工会議所会員事業所の経営動向・業況を把握し、地域中小企業の支援策の参考にするとともに、中小企業経営者等に対して経営に必要な情報を提供する

調査対象

本所会員事業所のうち、5産業（建設業・製造業・卸売業・小売業・サービス業）400社
（回答221社、回収率55.3%）

業種構成比及び小規模企業等の占める割合は、本所会員事業所の構成比を参考に抽出した

調査期間

平成23年3月3日～31日

調査方法

郵送・E-mailによるアンケート方式

分析方法

各調査項目について、前年同期及び前期と比較して、「良い」と回答した企業等の割合から、「悪い」と回答した企業等の割合を差し引いた指数（BSI：ビジネス・サーベイ・インデックス）をもとに分析を行った

（注）小規模企業等 = 小規模事業者（個人事業主を含む）

製造業その他 従業員20人以下、商業・サービス業 従業員5人以下

（注）各調査項目について、季節調整は行っていない



中小企業振興部 商工振興課

TEL 095-822-0111

今回の調査は調査期間が3月3日～31日となっており、「東日本大震災」による影響は十分に反映されておりませんので、ご注意ください。「東日本大震災による影響調査」は別途実施しており、調査結果は本所ホームページでご覧いただけます。

業界の景況感

1～3月期実績は、全産業ベースで 38.4〔前回調査比 - 6.5〕

4～6月期の見通しは、全産業ベースで 39.3〔今期実績比 - 0.9〕

(ただし、東日本大震災発生後に回収した回答のみでは、全産業ベースで 47.1 と大幅な悪化見込み)

業界の景気動向(景況感)の調査結果をみると、製造業・非製造業ともにマイナス幅が拡大し、全産業ベースでは 38.4(前回(12月)調査比 - 6.5)と悪化した。

一方4～6月期の見通しは、製造業で3.2ポイントの改善、非製造業では1.6ポイントの悪化が見込まれており、全産業ベースでは 39.3と0.9ポイントの悪化見込みとなった。ただし、東日本大震災発生後に回収した回答のみでは 47.1 と大幅な悪化見込み。

会員事業所の業況(自社業況の総合判断)

1～3月期実績は、全産業ベースで 31.2〔前回調査比 - 1.9〕

4～6月期の見通しは、全産業ベースで 31.2〔今期実績比±0〕

(ただし、東日本大震災発生後に回収した回答のみでは、全産業ベースで 42.5 と大幅な悪化見込み)

売上・生産額	今期実績	29.0 (-2.3)	来期は製造業で改善、非製造業では悪化見込み
利益・採算面	今期実績	33.5 (-6.7)	来期は製造業・非製造業ともに悪化見込み
資金繰り	今期実績	22.7 (-8.2)	来期は製造業・非製造業ともに改善見込み
設備投資	今期実績	20.8 (-0.9)	来期は製造業・非製造業ともに悪化見込み
雇用状況	今期実績	1.4 (-0.4)	来期は過剰感が弱まる見込み
経営上の問題点	全産業ベースで8期連続「売上額、生産額、工事高の伸び悩み」がトップ		

上記括弧内の数字は前回調査比

産業天気図 自社業況の総合判断：前年同期比

	1～3月期 実績		4～6月期 見通し	
	業況	BSI	業況	BSI
全産業		▲ 31.2		▲ 31.2
製造業		▲ 34.6		▲ 35.8
非製造業		▲ 30.6		▲ 30.5
建設業		▲ 28.1		▲ 51.6
卸売業		▲ 38.5		▲ 19.3
小売業		▲ 33.3		▲ 32.8
サービス業		▲ 25.8		▲ 22.3
小規模企業等		▲ 36.9		▲ 38.4

- 凡例 -

天気	業況BSI
	50以上 - 100
	25以上 - 50未満
	0以上 - 25未満
	25以上 - 0未満
	50以上 - 25未満
	100 - 50未満

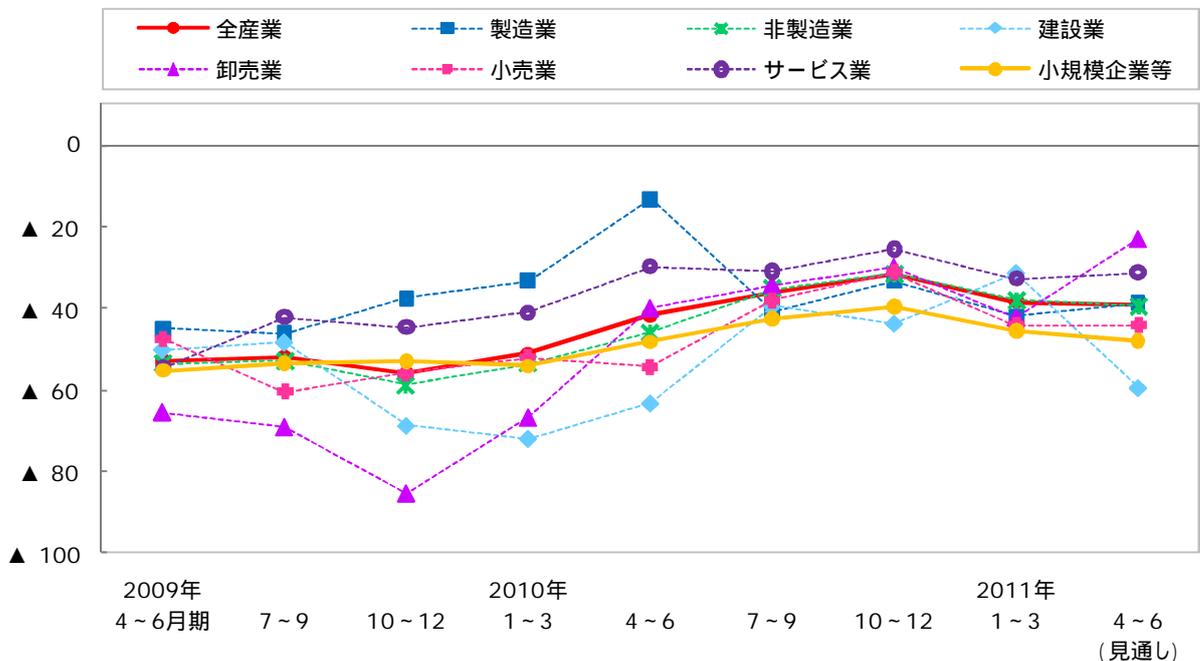
今回の調査は調査期間が3月3日～31日となっており、「東日本大震災」による影響は十分に反映されておりませんので、ご注意ください。「東日本大震災による影響調査」は別途実施しており、調査結果は本所ホームページでご覧いただけます。

1 業界の景況感

前年同期（2010年1～3月期）と比較して

2011年1～3月期 実績	2011年4～6月期 見通し
全産業 38.4〔前回調査比-6.5〕	全産業 39.3〔今期実績比-0.9〕
業種別にみると製造業で41.9（同-8.5）と悪化。一方、非製造業では建設業（同+12.4）以外の業種で悪化し、非製造業全体では37.9（同-6.3）と悪化した。結果、全産業ベースでは5期振りの悪化となった。 また、小規模企業等は45.6となり、前回調査から6.1ポイント悪化した。	製造業で38.7と今期と比べて3.2ポイントの改善が見込まれる一方、非製造業では建設業（同-28.2）で大幅な悪化見込みとなり39.5と1.6ポイントの悪化見込み。結果、全産業ベースでは0.9ポイントの悪化見込みとなった。 また、小規模企業等は47.9と今期と比べ2.3ポイントの悪化を見込んでいる。

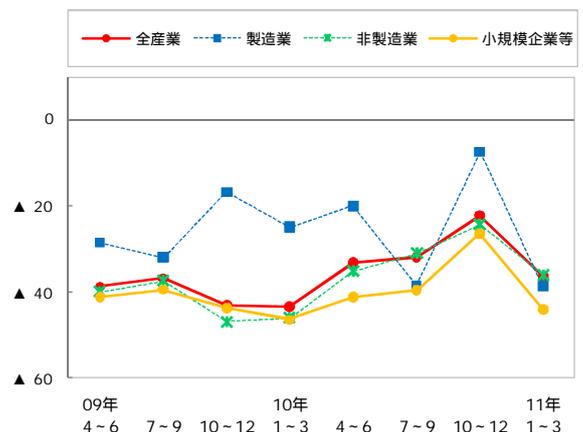
B S I : 「上昇」 - 「低下」



前期（2010年10～12月期）と比較して

2011年1～3月期 実績
全産業 36.4〔前回調査比-14.2〕
業種別にみると製造業は38.7（同-31.3）と大幅に悪化し過去最低値を更新した。一方、非製造業では卸売業（同+9.2）以外の業種で悪化し、非製造業全体では36.0（同-11.7）と5期振りの悪化となった。 また、小規模企業等は44.2（同-17.7）となり大幅に悪化した。

B S I : 「上昇」 - 「低下」



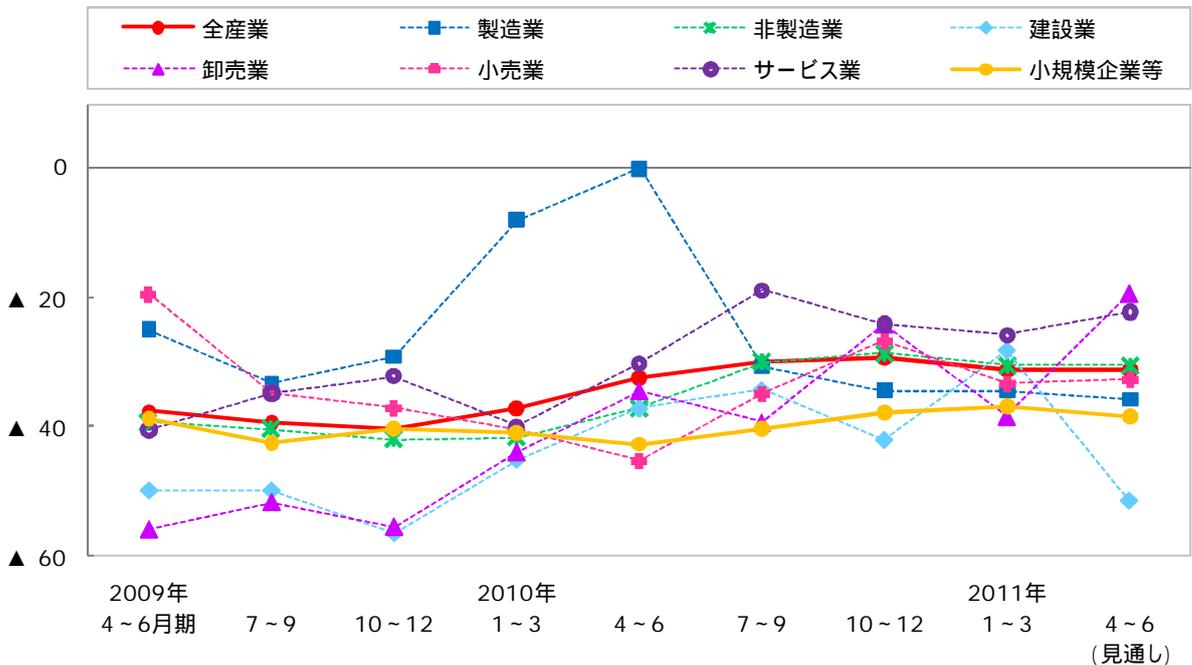
今回の調査は調査期間が3月3日～31日となっており、「東日本大震災」による影響は十分に反映されておりませんので、ご注意ください。「東日本大震災による影響調査」は別途実施しており、調査結果は本所ホームページでご覧いただけます。

2 自 社 業 況 の 総 合 判 断

前年同期（2010年1～3月期）と比較して

2011年1～3月期 実績	2011年4～6月期 見通し
全産業 31.2〔前回調査比-1.9〕	全産業 31.2〔今期実績比±0〕
業種別にみると製造業は 34.6（同-0.1）と3期続けて悪化した。一方、非製造業では建設業（同+14.0）以外の業種で悪化し、30.6（同-2.0）とマイナス幅が拡大した。結果、全産業ベースでは5期振りの悪化となった。 また、小規模企業等は 36.9（同+0.9）と僅かながら改善した。	製造業は 35.8と今期と比べて1.2ポイントの悪化見込み。一方、非製造業では建設業（同-23.5）で大幅な悪化が見込まれているものの、非製造業全体では 30.5と0.1ポイントの改善見込み。結果、全産業ベースでは今期と同水準の見通し。 また、小規模企業等は 38.4と今期と比べて1.5ポイントの悪化を見込んでいる。

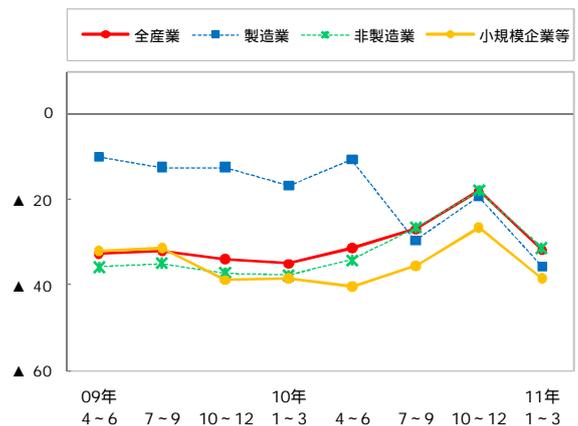
B S I : 「上昇」 - 「低下」



前期（2010年10～12月期）と比較して

2011年1～3月期 実績
全産業 31.8〔前回調査比-13.8〕
業種別にみると製造業は 35.7（同-16.4）と大幅に悪化し過去最低値を更新した。一方、非製造業では全業種で悪化し、とりわけ小売業（同-28.9）の悪化幅が大きく、非製造業全体では 31.2（同-13.3）とマイナス幅が拡大した。 また、小規模企業等は 38.4（同-11.9）と大幅に悪化した。

B S I : 「上昇」 - 「低下」



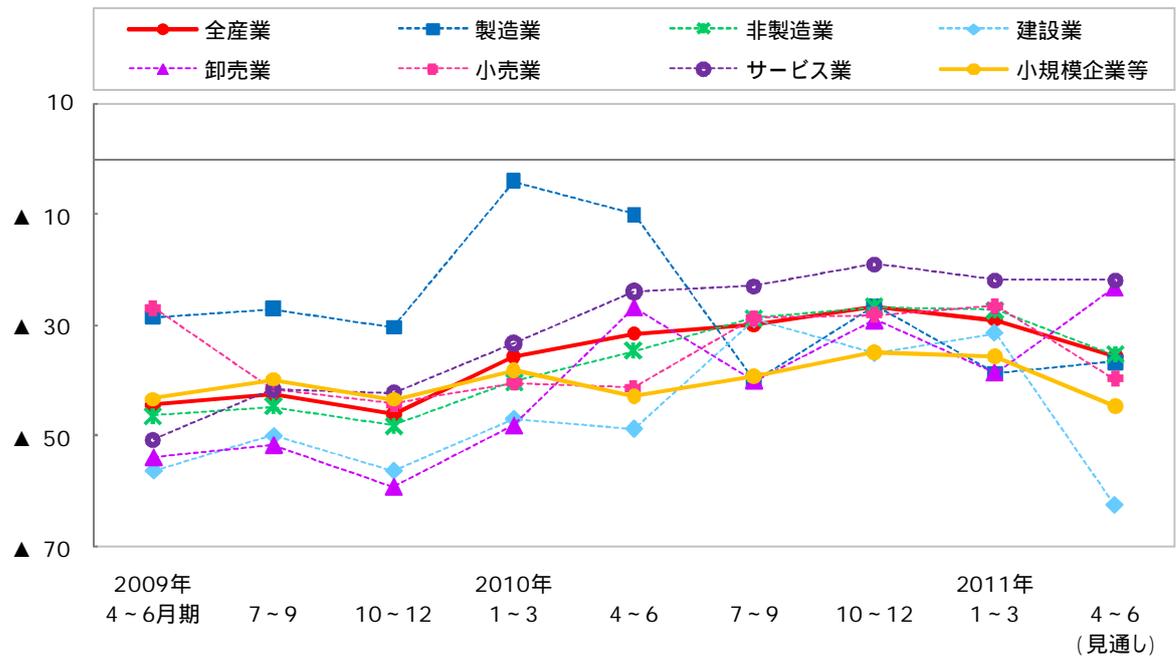
今回の調査は調査期間が3月3日～31日となっており、「東日本大震災」による影響は十分に反映されておりませんので、ご注意ください。「東日本大震災による影響調査」は別途実施しており、調査結果は本所ホームページでご覧いただけます。

3 売上・生産額

前年同期（2010年1～3月期）と比較して

2011年1～3月期 実績	2011年4～6月期 見通し
全産業 29.0〔前回調査比-2.3〕	全産業 35.5〔今期実績比-6.5〕
業種別にみると製造業は 38.7（同-12.1）と大幅に悪化した。一方、非製造業では卸売業（同-9.4）の大幅悪化もあり、非製造業全体では 27.3（同-0.6）と僅かに悪化した。結果、全産業ベースでは5期振りの悪化となった。 また、小規模企業等は 35.5 となり、前回調査から 0.6 ポイント悪化した。	製造業で 36.6 と今期と比べて 2.1 ポイントの改善が見込まれる一方、非製造業では建設業（同-31.2）や小売業（同-13.2）で大幅な悪化が見込まれるなど非製造業全体では 35.3 と 8.0 ポイントの悪化見込みとなった。 また、小規模企業等は 44.6 と今期と比べて 9.1 ポイントの悪化を見込んでいる。

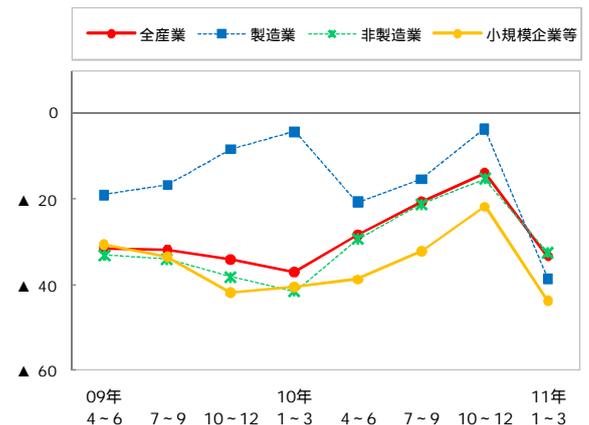
B S I : 「増加」 - 「減少」



前期（2010年10～12月期）と比較して

2011年1～3月期 実績
全産業 33.4〔前回調査比-19.5〕
業種別にみると製造業は 38.7（同-35.1）と大幅に悪化した。一方、非製造業でも小売業（同-27.2）の大幅な悪化をはじめ全ての業種で悪化し、非製造業全体では 32.6（同-17.3）とマイナス幅が大幅に拡大した。 また、小規模企業等は 43.8（同-22.0）と悪化し、過去最低値を更新した。

B S I : 「増加」 - 「減少」



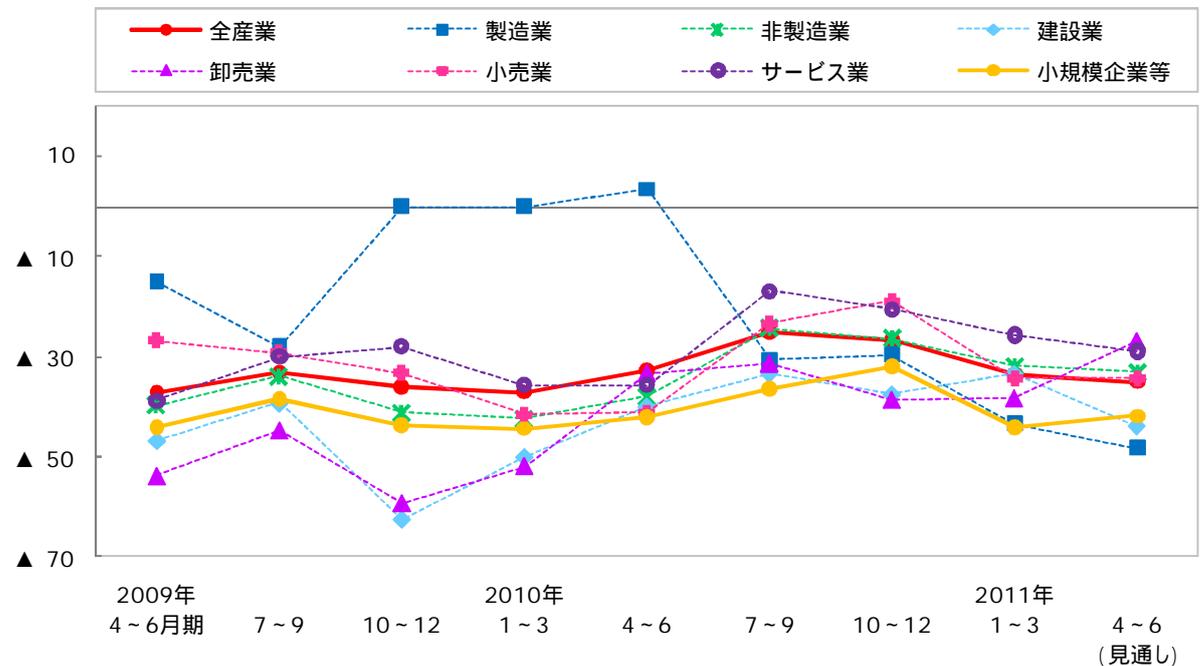
今回の調査は調査期間が3月3日～31日となっており、「東日本大震災」による影響は十分に反映されておりませんので、ご注意ください。「東日本大震災による影響調査」は別途実施しており、調査結果は本所ホームページでご覧いただけます。

4 利益・採算面

前年同期（2010年1～3月期）と比較して

2011年1～3月期 実績	2011年4～6月期 見通し
全産業 33.5〔前回調査比-6.7〕	全産業 35.1〔今期実績比-1.6〕
業種別にみると製造業は43.4（同-13.8）と悪化し過去最低値を大幅に更新した。一方、非製造業では小売業（同-15.3）で大幅に悪化するなど非製造業全体では32.0（同-5.6）と2期連続でマイナス幅が拡大した。 また、小規模企業等は44.2（同-12.2）となり大幅に悪化した。	製造業で48.3と今期と比べて4.9ポイントの悪化が見込まれる一方、非製造業でも建設業（同-10.4）の大幅な悪化見込みなどから非製造業全体では33.1と1.1ポイントの悪化見込み。結果、全産業ベースでは1.6ポイントの悪化見込み。 また、小規模企業等は41.9と今期と比べて2.3ポイントの改善を見込んでいる。

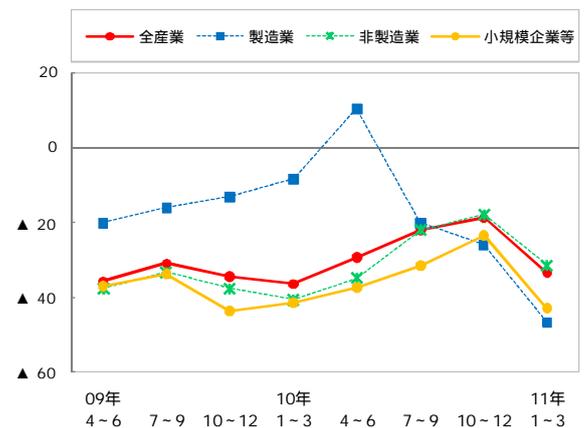
B S I : 「好転」 - 「悪化」



前期（2010年10～12月期）と比較して

2011年1～3月期 実績
全産業 33.4〔前回調査比-14.6〕
業種別にみると製造業は46.7（同-20.8）と3期続けて悪化した。一方、非製造業でも小売業（同-23.2）や建設業（同-20.0）で大幅に悪化し、非製造業全体では31.4（同-13.5）とマイナス幅が拡大した。 また、小規模企業等は42.8（同-19.5）となり5期振りに悪化した。

B S I : 「好転」 - 「悪化」



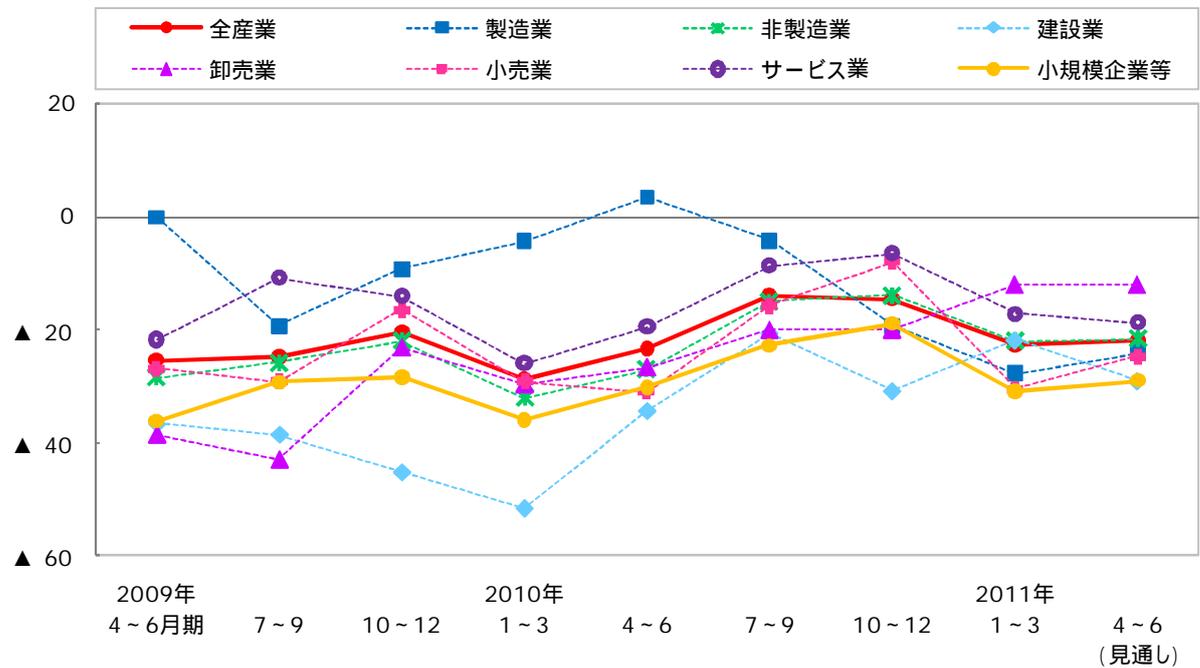
今回の調査は調査期間が3月3日～31日となっており、「東日本大震災」による影響は十分に反映されておりませんので、ご注意ください。「東日本大震災による影響調査」は別途実施しており、調査結果は本所ホームページでご覧いただけます。

5
資
金
繰
り

前年同期（2010年1～3月期）と比較して

2011年1～3月期 実績	2011年4～6月期 見通し
全産業 22.7〔前回調査比-8.2〕	全産業 21.9〔今期実績比+0.8〕
業種別にみると製造業で 27.6（同-8.3）と悪化し、過去最低値を大幅に更新した。一方、非製造業でも小売業（同-22.4）やサービス業（同-10.7）の大幅悪化などから、非製造業全体では 22.0（同-8.2）と悪化した。 また、小規模企業等は 30.9（同-12.1）となり4期振りの悪化となった。	製造業は 24.1と今期と比べて3.5ポイントの改善見込み。一方、非製造業でも建設業（同-7.2）などで悪化が見込まれるものの、小売業（同+5.7）で改善見込みとなるなど、非製造業全体では 21.6と0.4ポイントの改善見込み。 また、小規模企業等は 28.9と今期と比べて2.0ポイントの改善を見込んでいる。

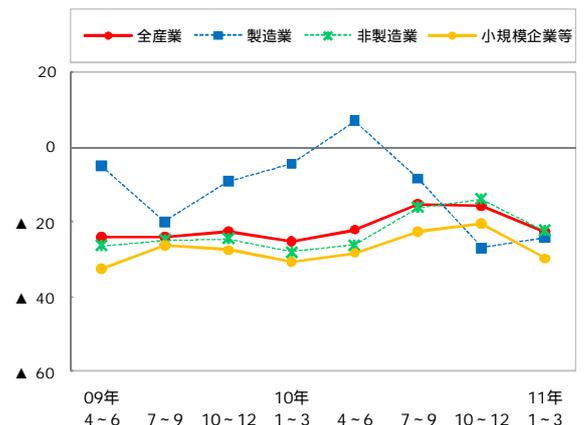
B S I :「好転」-「悪化」



前期（2010年10～12月期）と比較して

2011年1～3月期 実績
全産業 22.5〔前回調査比-7.0〕
業種別にみると製造業は 24.2（同+2.7）と改善した。一方、非製造業では卸売業（同+16.0）以外の業種で悪化し、非製造業全体では 22.3（同-8.4）と4期振りに悪化した。結果、全産業ベースでは2期連続での悪化となった。 また、小規模企業等は 29.7（同-9.2）とマイナス幅が拡大した。

B S I :「好転」-「悪化」



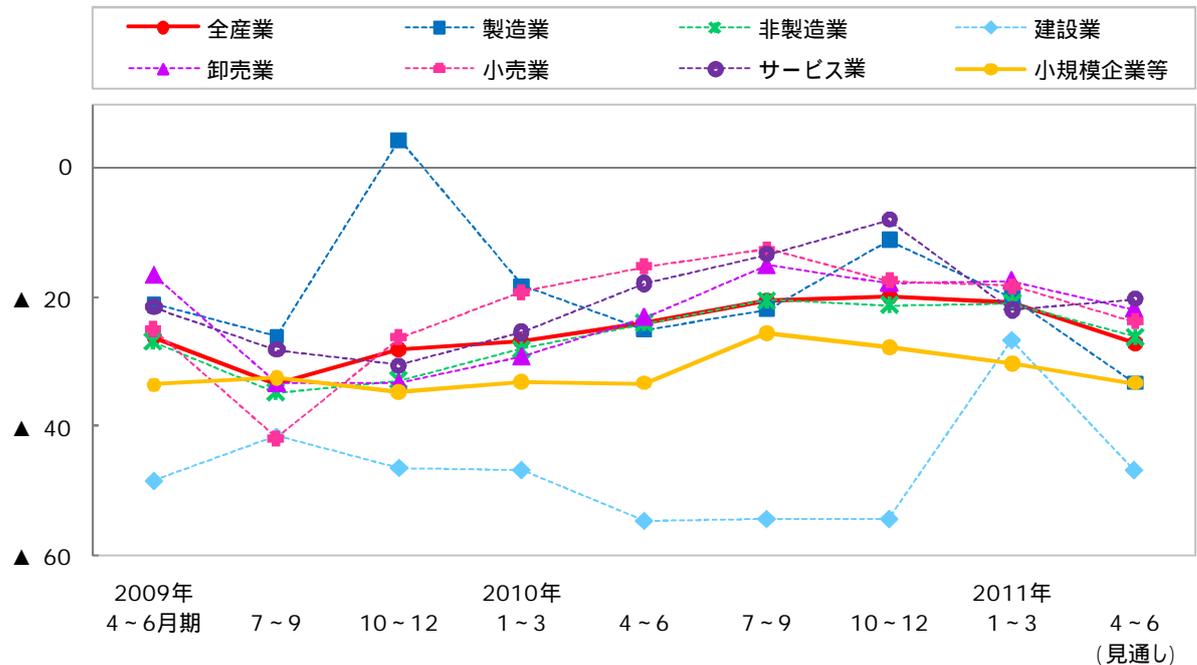
今回の調査は調査期間が3月3日～31日となっており、「東日本大震災」による影響は十分に反映されておりませんので、ご注意ください。「東日本大震災による影響調査」は別途実施しており、調査結果は本所ホームページでご覧いただけます。

6 設備投資

前年同期（2010年1～3月期）と比較して

2011年1～3月期 実績	2011年4～6月期 見通し
全産業 20.8〔前回調査比-0.9〕	全産業 27.1〔今期実績比-6.3〕
業種別にみると製造業は 20.0（同-8.9）と悪化した。一方、非製造業では建設業（同+27.7）の大幅改善もあり、20.9（同+0.3）と僅かに改善。結果、全産業ベースでは 20.8（同-0.9）と6期振りの悪化となった。 また、小規模企業等は 30.4（同-2.7）となり、2期連続で悪化した。	製造業で 33.3と今期と比べて13.3ポイントの悪化が見込まれる一方、非製造業ではサービス業（同+1.6）以外の業種で悪化が見込まれ、とりわけ建設業（同-20.1）で大幅な悪化見込みとなり、26.2と5.3ポイントの悪化見込み。 また、小規模企業等は 33.3と今期と比べて2.9ポイントの悪化を見込んでいる。

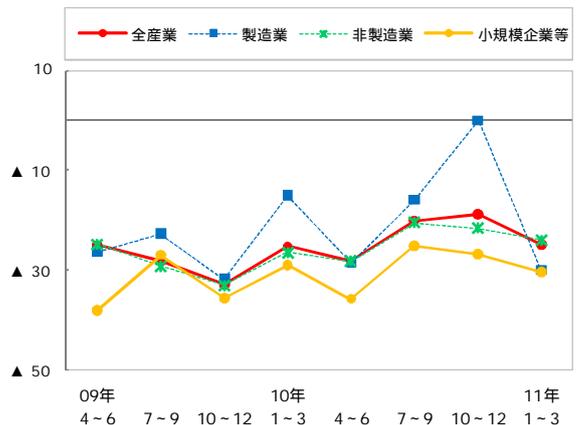
B S I : 「増加」 - 「減少」



前期（2010年10～12月期）と比較して

2011年1～3月期 実績
全産業 24.9〔前回調査比-6.0〕
業種別にみると製造業は 30.0（同-30.0）と大幅に悪化し、マイナス水準に転じた。一方、非製造業ではサービス業（同-15.9）の悪化幅が大きく、非製造業全体では 24.0（同-2.4）と2期連続で悪化した。 また、小規模企業等は 30.4（同-3.6）と2期連続で悪化した。

B S I : 「増加」 - 「減少」



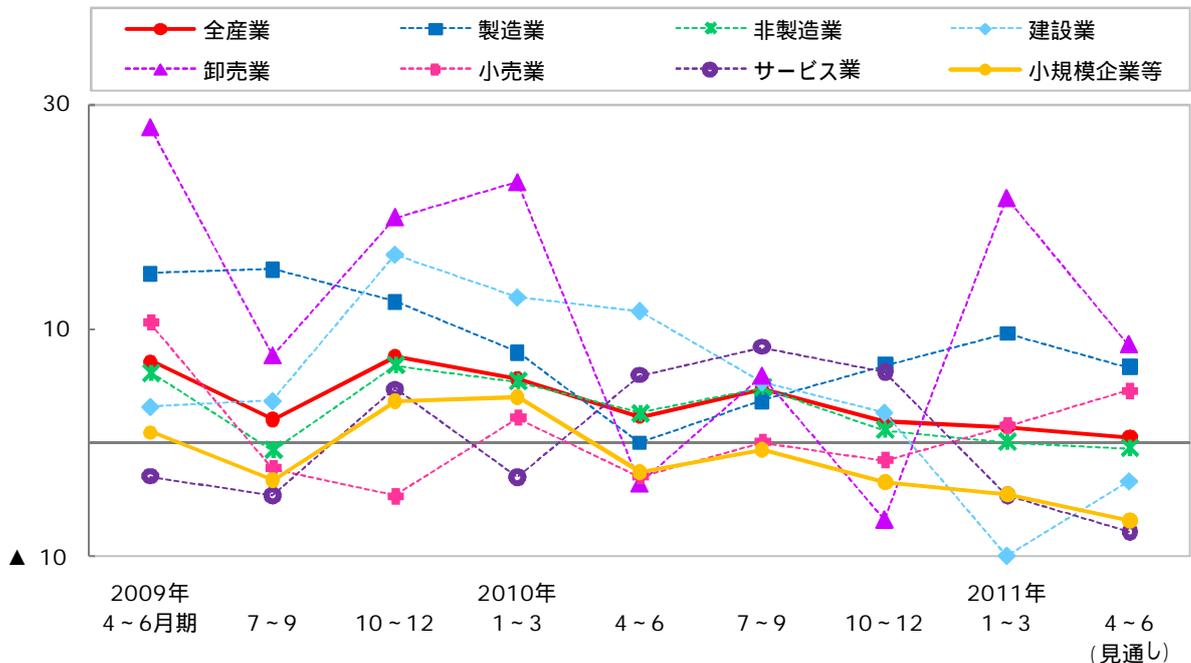
今回の調査は調査期間が3月3日～31日となっており、「東日本大震災」による影響は十分に反映されておりませんので、ご注意ください。「東日本大震災による影響調査」は別途実施しており、調査結果は本所ホームページでご覧いただけます。

7
雇
用
状
況

前年同期（2010年1～3月期）と比較して

2011年1～3月期 実績	2011年4～6月期 見通し
全産業 1.4〔前回調査比-0.4〕	全産業 0.5〔今期実績比-0.9〕
業種別にみると製造業は9.7（同+2.8）と「過剰」とする割合が増えた。一方、非製造業では建設業（同-12.7）・サービス業（同-11.0）でマイナス水準（「不足」超）に転じるなど非製造業全体では0.0（同-1.1）と「過剰」とする割合が減少した。 また、小規模企業等は4.6（同-1.1）と「不足」とする割合が増加した。	製造業で6.7と今期と比べて「過剰」とする割合が減る見込み。一方、非製造業では建設業で3.4と不足感が弱まるものの、卸売業で8.7と「過剰」とする割合が大幅に減少するなど、非製造業全体では0.5とマイナス水準（「不足」超）に転じる見込み。 また、小規模企業等では6.9と「不足」とする割合が増える見通し。

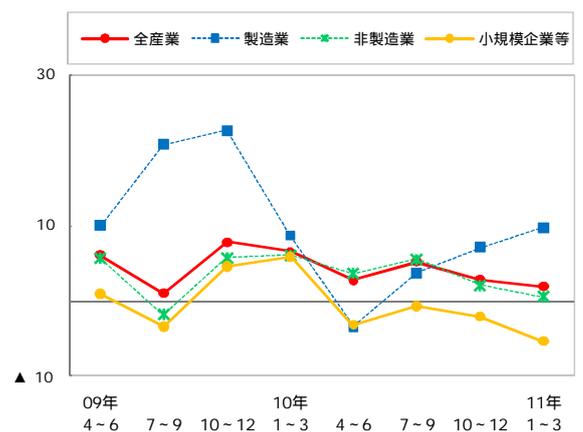
B S I : 「過剰」 - 「不足」



前期（2010年10～12月期）と比較して

2011年1～3月期 実績
全産業 1.9〔前回調査比-0.9〕
業種別にみると製造業で9.7（同+2.6）と「過剰」とする割合が3期連続で増えた。一方、非製造業では建設業（同-14.5）でマイナス水準（「不足」超）に転じるなど、非製造業全体では、0.5（同-1.6）と「過剰」とする割合が減少した。 また、小規模企業等は5.4（同-3.3）となり「不足」とする割合が増加した。

B S I : 「過剰」 - 「不足」

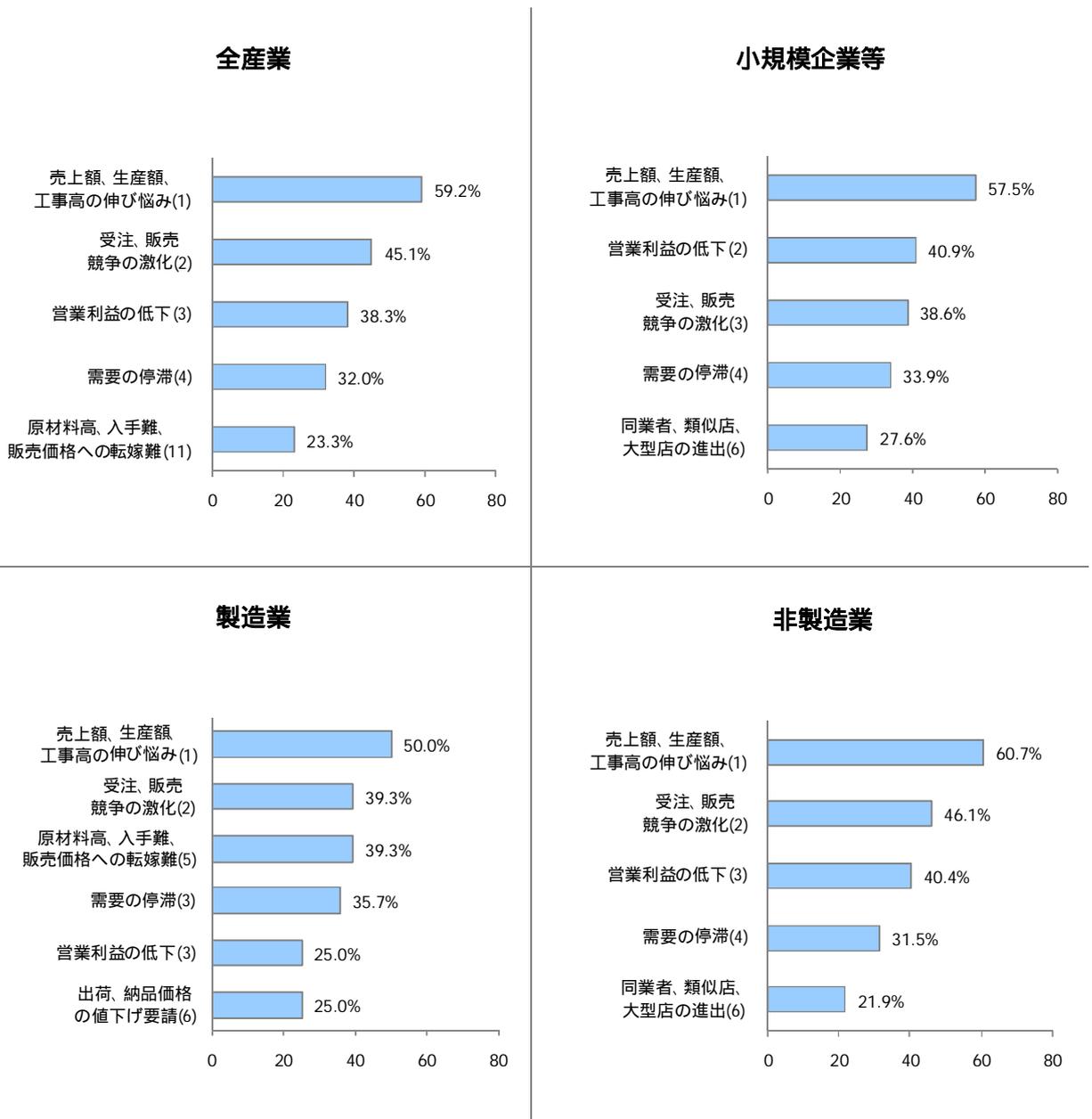


今回の調査は調査期間が3月3日～31日となっており、「東日本大震災」による影響は十分に反映されておりませんので、ご注意ください。「東日本大震災による影響調査」は別途実施しており、調査結果は本所ホームページでご覧いただけます。

8 経営上の問題点（複数回答）

全産業ベースで見ると、トップは前回調査から1.8ポイント上昇し、2009年4～6月期の調査開始以来8期連続で「売上額、生産額、工事高の伸び悩み（59.2%）」となった。特に小売業で11.1ポイント上昇し、その傾向が顕著に現れた。また、「原材料高、入手難、販売価格への転嫁難（23.3%）」が前回調査より14.3ポイント上昇し第5位となった。

その他の特徴的な傾向として、「同業者、類似店、大型店の進出」が小売業で第2位、小規模企業等でも第5位となるなど前回調査より順位を上げた。また、製造業では「出荷、納品価格の値下げ要請（25.0%）」が「営業利益の低下」と並び第5位となった。



各項目の括弧内の数字は前回（12月）調査時の順位